



限界を超えろ！（2）

生徒のみなさんへ

- 体育大会の振り返り ● 体育大会を振り返った1・2年生の感想文を一部紹介します。

1年1組 ○○さん

私が一番心に残った事は、みんなで協力して体育大会を終えて、そして、赤ブロックも全員リレーも一位になれた事です。何度も練習した体育大会ですが、私にとって、どの学年にも負けてないと思っていることは、友情と協力です。普段から友情と協力は出来ている自信があります。そして、それを感じるの、種目だけではないです。私たちのクラスは、応援もどの学年にも負けていなかったです。これから二年、三年と学年も替わりクラスも替わっていく中で、忘れられない体育大会だったと思っています。最後に、私はペア走だったのですが、赤ブロックは四位だったけれどクラスのみんながフォローしてくれたのでうれしかったし、「このクラスで良かった」と、また思えるようになったのでよかったです。

1年2組 ○○さん

「ワン、ツー、スリー、フォー」 私達の体育大会の早朝はこのかけ声が運動場にひびき渡りました。何度も重ねた練習のどの時よりも大きな声で心をついに集団行動ができたと思います。練習では、小学校と全く違う中学校のシステムに戸まどい、動きも遅く指摘されることも多くありました。上手く出来ないことには不安と悔しさをくじけそうになりながらも全体練習やブロック練習で見る先輩たちの姿を必死に追いかけてきました。本番は、練習の成果が出せたように思います。

先輩を必死に追いかけて、最善を尽くしたつもりでしたが、結果は優勝をとることができませんでした。しかし、休みがちだった人も参加し、クラス全員で臨めたことがとても良かったと思います。次は、クラスで団結し心をついに優勝を勝ち取りたいと思いました。

1年3組 ○○さん

今日は初めての体育大会で、とても緊張したけど楽しい体育大会になれてよかったです。ブロック練習でがんばったことを本番で活かすことができました。二年生や三年生の全員リレーを見て、一年生とは違ってバトンパスがとても上手かったり、一人一人が全力で走ったりしていました。一年生もそれに負けないうらいがんばりました。三年生の集団行動では、みんな一人一人が協力していてとてもびっくりしました。手を伸ばすところや動きを止めるところなど、ちゃんと意識してやっていました。ブロック対抗リレーでは、全力で応援することができました。今日はとても思い出に残る体育大会になりました。黄ブロックは練習の時、あまりうまくいかなかったけど、本番では練習したことを活かすことができて本当によかったです。今日のことを踏まえて、これからの生活に活かしていきたいです。

1年4組 ○○さん

私は、体育大会を終えて感じたことが二つありました。一つ目は、普段は勉強ばかりで人の良い所にあまり気付いていなかったけど、体育大会という大きなイベントでたくさん人の良い所を見つけることができました。二つ目は、運動能力が低くてもみんなで団結することで勝つことができるということです。体育大会の練習の時、四組は運動が苦手な人が多いことで、全員リレーは最下位と言われていました。けれども、運動が得意な人苦手な人みんなで団結し、練習を重ねてきました。すると、体育大会当日の全員リレーは、僅差で惜しくも二位だったけれど、学級対抗では一位になることができました。このことから、みんなで団結すると、人の良い所もたくさん見つかったり、運動能力があまり高くなくても優勝することができたりすると改めて感じました。



2年1組 ○○さん

(前略)ブロック練習では、ブロック長をはじめ、三年生の先輩のみなさんに引っ張ってもらい、二年生、一年生は全力で練習することができたのだと思いました。三年生の先輩の姿はとってもかっこよく、来年私たちがあの立場になって、後輩を引っ張っていかないとけないと思うと、少し不安と楽しみがあります。そして、とても感動したのは、三年生の集団演技です。昨年見た集団演技とは違って、とても感動しました。来年の私たちも今回の体育大会で見た集団演技を超えられて、熊西中の伝統を受け継ぎ、次の世代へつなげられるようにしたいと思いました。三年生のみなさんはこの日の為に私たちよりも全力でがんばってきたことが伝わってきました。今回の体育大会で、クラスのみならず、優勝の喜びを一緒に感じることができて良かったなと思いました。おかげで前よりもみんなとの距離が近くなったような気がします。(後略)

2年2組 ○○さん

(前略)応援している中で、自分たちのブロックだけではなくて、転んだりしている他のブロックの人がいたら「頑張っ」や「もう少しだよ」と声かけをしていて、とてもいいなと思い、自分にも活かしていくことができた。今年のスローガンにもあるように限られた時間の中で精一杯全力を尽くすということを意識しながら練習することで、この少ない時間の中でできることは何かという事を考えて、そのマイナスな点をプラスにすることができたと思う。三年生の集団演技を見て、やはり自分たちとは違い、列が乱れていてもすぐに直したりするなど、指示されなくても自分たちで考え行動していた。どのブロックも勝ち負けにはこだわらず、一人一人が全力を尽くしてとてもよかった。それを来年、私たちが三年生になった時に、二年間学んだことや、今までの三年生を見てきたことを活かして、成長したと思われるような一番の体育大会にできるよう頑張りたい。(後略)

2年3組 ○○さん

(前略)全ての役割を完璧に果たすことはできなかったけれど、自分の役割のために一生懸命努力したので、とても達成感があった。また、三年生のブロック長のひとたちが、とても一生懸命声を出し、みんなをまとめようとしているのを見て、自分の役割を果たすということは本当に難しいことだと思った。今年、私たちは二年生として一年生に上級生の背中を見せるのが役割だと思った。私にはその役割が果たせたかどうか分からないけれど、一年生は私たちの背中をしっかり見てくれたと思う。来年、私たちは三年生になる。その時、一年生や二年生にも最上級生としての背中を見せられるようになっていたい。今年の体育大会は優勝こそできなかったけれど、黄色ブロック、そして、二年三組全員で一つの目標に向かって頑張ることができて本当に良かった。(後略)

2年4組 ○○さん

今年の体育大会は去年とは違い、二年生として三年生の先輩方の姿を見習い、一年生の後輩たちに見られても恥ずかじ、先輩方に負けられないような姿を見せなければならないプレッシャーが重くのしかかっていた。(中略)体育大会の前日には、クラスのみならず教室の黒板に目標や意気込みを書いたり、緑色のリストバンドに意気込みを書いたりして、クラスの団結を深め、楽しく体育大会の取組ができ、不安な気持ちは次第に消えていった。ついに大会当日、始まる前にメンバー同士で励まし合ったおかげで思っていたより緊張せずに走り切ることができた。賞を取ることはできなかったが、青ブロックの目標「真剣勝舞」、全体の目標「限界を超えろ」を意識して大会を全力で楽しくすることができ、とてもうれしかった。来年は一年生のお手本として、今年の三年生の頑張っている姿を思い出し、後輩に尊敬してもらえそうな三年生になりたいと思った。



今回、全校生徒の皆さん一人一人の作文を見させてもらいました。とても充実した大会となったことが、皆さんの振り返りそれぞれから感じる事が出来たことを大変嬉しく思います。大会では、一人一人が本気で取り組み、全力で走り、演技し、懸命に仲間を応援する姿がありました。だからこそ自分も楽しめ、見る人も感動させたのだと思います。そして、素早く行動する姿、気をつけの姿勢で一点に注目する真剣な眼差し。そんな姿にも見るものは感動します。スローガンの通り、限界を超えることに挑戦して皆さんと先生達、そして保護者の皆様と共に、グラウンドで感動を分かち合えたことに心より感謝します。

保護者の皆様へ ～体育大会の映像配信のお知らせ～

先日お知らせいたしました通り、体育大会当日のライブ配信映像を一部編集したものを Youtube (ユーチューブ) にて、11月いっぱいまで限定公開しています。よろしければご覧ください。配信アドレス <https://youtu.be/2WsMWGIYC4k>

